

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003076	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	西井 龍映		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	西井 龍映		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	西井 龍映		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishii.ryuei▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	情報データ科学部 205号室		
担当教員TEL/Tel	095 819 2569		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003077	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	喜安 千弥／Kiyasu Senya		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	喜安 千弥／Kiyasu Senya		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	喜安 千弥／Kiyasu Senya		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003078	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	全 炳徳／Jun Byungdug		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	全 炳徳／Jun Byungdug		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	全 炳徳／Jun Byungdug		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003079	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	小林 透／Kobayashi Toru		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	小林 透／Kobayashi Toru		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	小林 透／Kobayashi Toru		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	小林透／大規模ソフト開発、情報セキュリティ、情報マイニングに関する実務経験／ソフトウェア工学
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003080	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	柴田 裕一郎／Shibata Yuichiro		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	柴田 裕一郎／Shibata Yuichiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	柴田 裕一郎／Shibata Yuichiro		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuichiro▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	工学部1号館 情報システム研究室304		
担当教員TEL/Tel	095-819-2572		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003081	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	高田 英明		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	高田 英明		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	高田 英明		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hideaki▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3F 情報システム研究室302		
担当教員TEL/Tel	095-819-2576		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日13:00-14:30（授業実施期間中） メール（hideaki▲nagasaki-u.ac.jp）では随時受け付けますので、お気軽にご連絡ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動のかつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・ 自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・ プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・ レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面を原則として、状況に応じてオンラインをとり入れるハイブリッド方式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003082	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	尾崎 友哉／OZAKI Tomochika		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	尾崎 友哉／OZAKI Tomochika		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	尾崎 友哉／OZAKI Tomochika		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomo.ozaki▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟5F 503号室		
担当教員TEL/Tel	095-800-4197		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 4限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	尾崎友哉/企業での実務経験に基づく発想法，課題整理方法などの指導
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003083	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	植木 優夫		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	植木 優夫		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	植木 優夫		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	uekim▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス情報データ科学部棟6F		
担当教員TEL/Tel	095-800-4193		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 16:10-17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003084	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	金谷 一郎／Kanaya Ichiro		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	金谷 一郎／Kanaya Ichiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	金谷 一郎／Kanaya Ichiro		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003085	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	宮本 道子		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	宮本 道子		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	宮本 道子		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmiyamoto▲nagasaki-u.ac.jp （メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟305号室		
担当教員TEL/Tel	095-800-4187		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習,論理的思考力,倫理観,プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業への出席は必須です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003086	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	酒井 智弥／Sakai Tomoya		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	酒井 智弥／Sakai Tomoya		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	酒井 智弥／Sakai Tomoya		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択, 自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003087	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	原澤 隆一／Harasawa Ryuichi		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	原澤 隆一／Harasawa Ryuichi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	原澤 隆一／Harasawa Ryuichi		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harasawa▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	工学部1号館4階 教員・ゼミ室407		
担当教員TEL/Tel	095-819-2702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜2校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003088	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	藤村 誠／Fujimura Makoto		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	藤村 誠／Fujimura Makoto		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	藤村 誠／Fujimura Makoto		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003089	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	一藤 裕／Ichifuji Yu		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	一藤 裕／Ichifuji Yu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	一藤 裕／Ichifuji Yu		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ichifuji▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003090	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	荒井 研一／Arai Kenichi		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	荒井 研一／Arai Kenichi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	荒井 研一／Arai Kenichi		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003091	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	伊藤 宗平		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	伊藤 宗平		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	伊藤 宗平		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003092	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	宮島 洋文		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	宮島 洋文		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	宮島 洋文		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003093	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	梅津 佑太		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	梅津 佑太		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	梅津 佑太		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003094	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	神山 剛／Kamiyama Takeshi		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	神山 剛／Kamiyama Takeshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	神山 剛／Kamiyama Takeshi		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(4h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003095	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	高橋 将宜		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	高橋 将宜		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	高橋 将宜		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-takahashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	情報データ科学部棟403号室		
担当教員TEL/Tel	095-800-4199		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日16:00～17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003096	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	松本 拓高		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	松本 拓高		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	松本 拓高		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの貢献 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003097	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（情報）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	瀬戸崎 典夫／Setozaki Norio		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	瀬戸崎 典夫／Setozaki Norio		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	瀬戸崎 典夫／Setozaki Norio		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	情報データ科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	setozaki▲nagasaki-u.ac.jp （メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構2階		
担当教員TEL/Tel	095-800-4189		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「実社会課題解決プロジェクト」科目と連動して、長崎の地域課題に対する解決方略の提案を事例として実践的に大学での学び方の基礎をつくることを目的とする。指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて、高校までの受動的な学びを脱却し、能動的かつ主体的な学びへと意識転換をすると共に、情報工学およびデータ科学に関する基礎的な考え方を身につける。また、口頭発表やレポート作成を通じて、考えたことや議論の成果などをわかりやすく他者に伝える方法を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 主体的に課題探求ができる。 2) 情報工学およびデータ科学の基礎的な考え方に基づく論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じて他者との対話ができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% （課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30% （発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20% （ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20% （レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で配付された資料等を整理し次回授業準備を行うこと、およびグループメンバーとの会議を行うこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。資料は授業回ごとに配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業への出席は必須です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面。変更がある場合は、LACSにて指示。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜予習をして講義に望むこと。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明（全体講義）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（全体講義）
第3回	情報収集・文献リストの作成（各教員研究室）
第4回	クリティカル・リーディング（全体講義）
第5回	要約した文章のピア・リーディング（各教員研究室）
第6回	発想法・思考の整理（ブレスト、KJ法、マンドラートなど）（全体講義）
第7回	カテゴリ分類、構造化・可視化（各教員研究室）
第8回	ディスカッション（傾聴力、ファシリテーション、対話）（全体講義）
第9回	課題の抽出と解決案の創造（各教員研究室）
第10回	プレゼンテーション（ビジュアルエイド、ジェスチャー）（全体講義）
第11回	提案内容の吟味（各教員研究室）
第12回	提案内容の完成（各教員研究室）
第13回	プレゼンテーションのリハーサル（各教員研究室）
第14回	アカデミック・ライティング（全体講義）
第15回	授業の振り返り（各教員研究室）